

## 扉絵 (Society 5.0)<sup>1</sup>について

### <Society 5.0とは>

Society 5.0は、我が国が目指すべき未来社会として、第5期科学技術基本計画（平成28年1月閣議決定）において提唱されたコンセプトです。狩猟社会（1.0）、農耕社会（2.0）、工業社会（3.0）、情報社会（4.0）に続く社会であり、「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」と定義しています。

「仮想空間と現実空間の融合」とは、最新の情報通信技術（ICT<sup>2</sup>）を活用して現実空間の多種多様なデータを、スーパーコンピュータ等における仮想空間に集積し、この仮想空間内で、社会の様々な要素について、人工知能（AI<sup>3</sup>）も活用して、シミュレーションなどの高度な解析、予測・判断を行い、その結果を現実空間に反映することです。この仮想空間と現実空間との循環によって、私たちの社会を、より良い「人間中心の社会」に変革していくことを目指します。

### <Society 5.0として我が国が目指す未来社会像>

新型コロナウイルス感染症、東日本大震災といった大規模自然災害、地球温暖化等の脅威に対し、国民の安全と安心を確保することは喫緊の課題です。また、近年、人々の価値観も、富の追求に限定しない多様な幸せ、さらに国や世界への貢献を重視するなど変わりつつあります。人生100年時代に、生涯にわたって社会参加し続けられる環境も求められます。

このような背景を踏まえ、第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月閣議決定）では、Society 5.0として我が国が目指す未来社会像をより具体的に「直面する脅威や先の見えない不確実な状況に対し、持続可能性と強靭性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ（well-being）を実現できる社会」と表現しました。

この未来社会を分かりやすくイメージしたのが、前ページの扉絵です。最先端の科学技術を用いた「仮想空間と現実空間の融合」という手段と、「人間中心の社会」という価値観によって、「国民の安全と安心を確保する持続可能で強靭な社会」と「一人ひとりの多様な幸せ（well-being）が実現できる社会」の実現を目指します。

### <Society 5.0実現に必要な取組>

Society 5.0実現のため、「仮想空間と現実空間の融合」を可能とする基盤技術や社会実装へのチャレンジとともに、地球の持続可能性や社会の強靭性を確保する研究開発が必要です。

また、Society 5.0として、新たな社会や価値を創造していくとともに、少子高齢化や過疎化といった複雑な社会課題<sup>ないじ</sup>に対峙していくためには、自然科学の「知」や人文・社会科学の「知」を含む多様な知を総合的に活用し、知の活力を生むこと、すなわち「総合知」が必要となります。

1 扉絵は、令和3年版科学技術・イノベーション白書に掲載したものを一部修正したものです

2 Information and Communication Technology

3 Artificial Intelligence